

令和4年度 危険物取扱者試験 試験案内



消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により富山県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

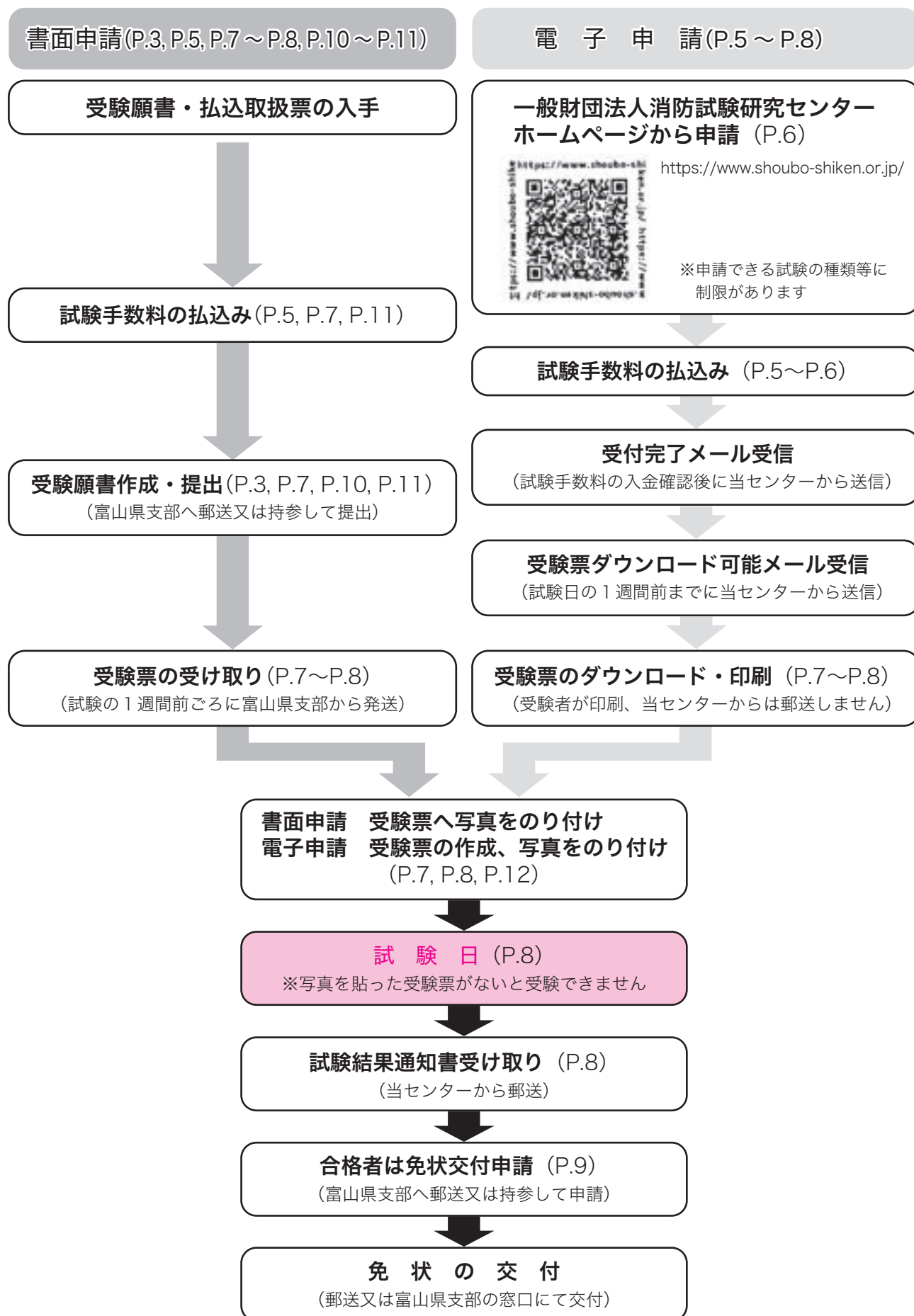
試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

◆試験の日時、会場、種類及び受付期間

回	試験日	開始時間	試験種類	受験地	試験会場	受付期間	
						書面申請	電子申請
第1回	6月11日(土)	10:00	乙種第4類	高岡市	高岡商工ビル (高岡市丸の内1-40)	4月19日 (火)	4月16日 (土) 9:00
		13:30	甲種・丙種 乙種第1～6類				
	6月18日(土)	9:30	甲種	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)	}	}
		13:30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙種				
	6月19日(日)	10:00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)	4月28日 (木)	4月25日 (月) 17:00
		13:30					
	6月26日(日)	10:00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)		
		13:30	甲種・丙種 乙種第1～6類				
第2回	10月9日(日)	10:00	乙種第4類	高岡市	高岡商工ビル (高岡市丸の内1-40)	8月24日 (水)	8月21日 (日) 9:00
		13:30	甲種・丙種 乙種第1～6類				
	10月15日(土)	9:30	甲種	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)	}	}
		13:30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙種				
	10月16日(日)	10:00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)	9月2日 (金)	8月30日 (火) 17:00
		13:30					
	10月22日(土)	10:00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)		
		13:30	甲種・丙種 乙種第1～6類				
第3回	令和5年 2月5日(日)	10:00	乙種第4類	高岡市	高岡商工ビル (高岡市丸の内1-40)	12月7日 (水)	12月4日 (日) 9:00
		13:30	甲種・丙種 乙種第1～6類				
	令和5年 2月11日(土)	9:30	甲種	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)	}	}
		13:30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙種				
	令和5年 2月12日(日)	10:00	乙種第4類	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)	12月16日 (金)	12月13日 (火) 17:00
		13:30					

- (注) 1. 受験願書の受験地欄には、上表網掛け太枠部分の **受験地** を記入してください。
2. 乙種第4類の試験は、受験者数により、午前と午後に分割して実施しますが、午前・午後の試験時間帯は当支部が指定（受験票に記載）し、受験者本人が選択することはできません。
3. 試験会場の収容人員等の関係により、会場、時間等を変更する場合がありますので、ご了承願います。
4. 電子申請は、受付期間中24時間受付可能です。ただし、毎月第2火曜日の午前1時30分から5時までは、システムメンテナンスのため、受付を中止しています。
5. 感染症対策として、試験会場では必ずマスクの着用及び手指消毒をお願い致します。また、会場内での会話はお控えください。

受験手続から合格後の免状交付申請手続までの流れ



1 受験願書受付場所

一般財団法人 消防試験研究センター富山県支部

〒939-8201 富山市花園町4-5-20（富山県防災センター2階）

TEL 076-491-5565

- 〔備考〕 ●受験願書は持参又は郵送（受付最終日の消印有効）にて受付します。
- 持参する場合は、受付期間中の平日 9:00～17:00までをお願いします。
（時間外の場合、封をして防災センターの郵便受けに入れてください）
- 郵送する場合は、不着によるトラブルを避けるため、「簡易書留郵便」をお勧めします。
※普通郵便等での不着の場合、当センターは一切関与いたしませんので、ご了承願います。
- 記入事項が不備なもの及び郵送消印の日付が期限を越えているものは、受付できません。
- 受験申請の方法は、書面申請（願書による申請）と電子申請（インターネットによる申請）の2通りです。同一試験日に、書面申請と電子申請で重複して申請すること及び同じ種類の試験を2回以上受験することはできません。
- 各試験の締切日（電子申請は受付完了）以降は、申請内容等の変更及び取消しはできません。

2 危険物の種類、免状の種類及び取扱いができる危険物

免状の種類		取扱いのできる危険物
甲 種		全種類の危険物
乙 種	第1類	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類などの酸化性固体
	第2類	硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウムなどの可燃性固体
	第3類	カリウム、ナトリウム、アルキルアルミニウムなどの自然発火性物質及び禁水性物質
	第4類	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類などの引火性液体
	第5類	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物などの自己反応性物質
	第6類	過塩素酸、過酸化水素、硝酸などの酸化性液体
丙 種		ガソリン、灯油、軽油、第3石油類（重油、潤滑油及び引火点130℃以上のものに限る）、第4石油類及び動植物油類

3 試験種類、試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目	問題数	合計	試験時間
甲種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間 30分
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間 15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

4 受験資格等

(1) 甲種危険物取扱者試験

受験資格は、下表のとおりです。

部分はコピー
その他は原本

資 格 者	大学等及び資格詳細	甲種受験資格欄 記入略称	証明書類
① 大学等において 化学に関する学 科等を卒業した 方（専門職大学 の前期課程を修 了した方） （13ページ別表1参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校（備考2） 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 高等学校・中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発 大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大 学等 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書 又は 卒業証書・ 学位記 （学科等の名 称が明記され ているもの）
② 大学等において 化学に関する授 業科目を15単位 以上修得した方 （14ページ別表2参照）	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、 大学院、専門職大学院、専修学校（備考2） 高等専門学校の専門科目 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安 大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業 能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所 在する大学等	通算可 15単位	単位修得証明書 又は 成績証明書 （修得単位が 明記されてい るもの）
③ 乙種危険物取扱 者免状を有する 方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所 等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方 次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けて いる方 ○第3類（必須）○第1類又は第6類のどちらか1つ ○第5類（必須）○第2類又は第4類のどちらか1つ	実務2年 4種類	乙種危険物取 扱者免状及び 乙種危険物取 扱実務経験証 明書 （様式願書B面裏） 乙種危険物取 扱者免状
④ 修士・博士の学 位を有する方 （13ページ別表1参照）	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項 を専攻した方（外国の学位も含む）	学位	学位授与証明書等 又は 学 位 記 （専攻等の名 称が明記され ているもの）

- 〔備考〕 1 ①の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限りま。
- 2 ①、②の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。（ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です）
 (1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
 (2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面（P.13の書式例1参照）
- 3 ②の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず合算して算定することができます。放送大学も同様に算定できます。（P.13の書式例2参照）
- 4 ③の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書B面裏の様式を使用してください。
- 5 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 6 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことがある方は、その時の「受験票（控）」又は「試験結果通知書」（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます（コピーでも可）。
- 7 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

(2) 乙種危険物取扱者試験

- ① 受験資格は必要ありません。
- ② 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。既に乙種危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、試験科目の「法令」・「物化」の全部が免除になります。

また、第1類又は第5類の受験者で**火薬類免状を取得している方は申請により**、「物化」及び「性消」の一部が免除になります。免除資格がある方は、受験願書の科目免除欄に記入し、**免状のコピー**を提出してください（一部免除については、免除を受けた問題は点数加算されません。）。（7ページの(1)の⑤参照）

免 除 資 格 者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合 計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全 類	① 法 令	全 部 免 除	0問	10問	35分
		② 物 化	全 部 免 除	0問		
		③ 性 消		10問		
火薬類免状を有する科目の一部免除申請者	第1類 第5類	① 法 令		15問	24問	1時間30分
		② 物 化	一 部 免 除	4問		
		③ 性 消	一 部 免 除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ、火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	① 法 令	全 部 免 除	0問	5問	35分
		② 物 化	全 部 免 除	0問		
		③ 性 消	一 部 免 除	5問		

備考 ① 火薬類免状とは、次の免状を意味します。

- ◇ 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）
- ◇ 甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

- ② **乙種危険物取扱者免状を取得している方**（危険物取扱者免状・火薬類免状の両方を取得している方を含む。）が**複数（2種類）受験する場合の試験時間は1時間10分**です。

(3) 丙種危険物取扱者試験

- ① 受験資格は、必要ありません。
- ② 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。免除資格者に該当し、**免除を希望される方は、次の2種類の証明書類を提出**してください。

- ① 消防団員歴を証明する書類の原本（消防団長等が証明するもの）
- ② 消防学校の教育修了証の写し（消防学校長が証明するもの）

免 除 資 格 者	試験科目	免除内容	問題数	合 計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	危険物に関する法令		10問	20問	1時間00分
	燃焼及び消火に関する基礎知識	全部免除	0問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法		10問		

5 試験手数料

試験手数料（非課税）は下表のとおりです。払込み方法は電子申請と書面申請で異なります。詳しくは「6 電子申請の方法」（P.6）又は「7 書面申請の方法」（P.7～P.8）をご確認ください。

なお、一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。

甲 種	乙 種	丙 種
6,600円	4,600円	3,700円

6 電子申請の方法

(1) 申請方法

インターネットで受験申請する場合は、下表の内容を確認し、一般財団法人消防試験研究センターホームページから申請してください。なお、**複数受験**を申請する方は必ず**書面で申請**してください。

種類	内 容	電子申請 の可否	備 考
甲 種	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状を取得している方 ① 第3類（必須） ② 第5類（必須） ③ 第1類又は第6類のどちらか1つ ④ 第2類又は第4類のどちらか1つ	○	※ 電子申請するにあたっての主な留意事項は、次のとおりです。 ① パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、受験票(PDF)を自宅やコンビニ等のプリンター、複合機で印刷できること ② 携帯電話やフリーメールアドレスは迷惑メール対策等により、当センターからのメールを受信できないことがあること(受験票のダウンロードにメールは不要) ③ 既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載事項に変更がないこと ④ 乙種免状を取得している方で乙種試験を受験する方は、自動的に試験科目の一部が免除になること なお、詳しくは一般財団法人消防試験研究センターホームページの「電子申請に関するQ&A」を確認してください。
	上記以外の受験資格者（P.4参照）	×	
乙 種	第1類又は第5類を受験する方で、火薬類免状による科目免除を希望する方	×	
	上記以外の方	○	
丙 種	5年以上消防団員として勤務し、かつ消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方で、証明書による科目免除を希望する方	×	
	上記以外の方	○	
複数 受験	既に乙種危険物取扱者免状を取得している方で、同一試験時間帯に乙種の試験を2種類受験する方	×	
再 受 験	過去3年以内に書面申請又は電子申請し、受理された経過がある方で、同じ試験種類を再度受験する方（受験地は問いません。）	○	① 同一試験日に1種類のみ電子申請できます。 ② 甲種の申請は入力時に前回の受験票（控）又は試験結果通知書が必要です。 ③ 前回の試験日の翌日から申請できます ④ 試験科目の免除の内容は前回の試験と同じになります（試験科目の免除の内容は変更できません。）。

- 備考 ① 受験申請の受付時間は、受付開始日の9時00分から締切日の17時00分までとなります（24時間対応）。
なお、書面申請の受付期間と電子申請の受付期間は、異なっていますのでご注意ください。
- ② 危険物取扱者免状を取得していることによる甲種受験資格、乙種科目免除資格のある方でも、免状番号（免状の写真下に記載されている12桁の番号）のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面申請してください（電子申請には、免状番号の入力が必要なため）。

(2) 試験手数料の払込み方法（電子申請の場合）

電子申請による払込み方法は、次の3種類から選択できます。
払込みには、別途払込手数料230円（消費税込み）が必要となります。

決 済 方 法	決 済 内 容
ページー（Pay-easy）	情報リンク方式 オンライン方式
コンビニエンスストア決済	セブン-イレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート
クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカンエクスプレス ダイナース

電子申請に関するお問い合わせ先

一般財団法人消防試験研究センター 電子申請室
 専用電話（全国共通）0570-07-1000（有料）
 受付時間 9時00分～17時00分（土日祝日、年末年始を除く。）
 一般財団法人消防試験研究センターホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



7 書面申請の方法

(1) 申請に必要な書類

書面申請で提出する書類は下表のとおりです。

提出書類	留意点
① 受験願書	受験する種類（1種類につき1部）ごとに作成し、同一日に乙種の複数受験を申請する場合は一緒に提出してください。（P.10～P.11の記載例参照）
② 振替払込受付証明書（お客さま用） ※ 郵便局窓口で押印される日附印があるもの	当センター指定の「振替払込受付証明書（お客さま用） 受験願書添付用 」を受験願書B面（表）の指定の欄にのり付けしてください。（P.11参照）
③ 危険物取扱者免状のコピー	該 当 者 の み 既に危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、受験願書B面（裏）の指定の欄にのり付けしてください。（P.11参照）
④ 甲種受験資格を証明する書類	
⑤ 火薬類免状のコピー	
⑥ 消防団員歴を証明する書類の原本 及び消防学校の教育修了証（コピー可）	
	甲種を受験される方は、受験資格を証明する書類の提出が必要です。（P.4参照） 火薬類の免状を取得している方で、乙種第1類又は第5類の試験科目の一部免除を受ける方は、証明する免状のコピーの提出が必要です。（P.5、(2)参照） 丙種の試験科目免除を受ける方は、資格を証明する書類の提出が必要です。（P.5、(3)参照）

(2) 試験手数料の払込み方法（書面申請の場合 P.11参照）

- ① 受験願書に同封の「払込取扱票」の金額欄に受験する試験の種類に応じた試験手数料をご記入の上、**郵便局又はゆうちょ銀行の窓口でお支払いください**（払込取扱票の「**振替払込受付証明書（お客さま用） 受験願書添付用**」に日附印が押印されていないと受験申請できませんので、ATM機では払込まないでください。また、富山県支部窓口での払込みはできません。）。

なお、払込手数料は申請者の負担となります。また、一旦払込みされた試験手数料はお返しできません。

- ② 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した「**振替払込受付証明書（お客さま用） 受験願書添付用**」を受験願書B面（表）の指定の欄に貼り付けてください（本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」が貼り付けられている場合は、再度、受験願書添付用を提出してもらいますので、ご注意ください。）。

(3) その他

受付期間外に提出された受験願書及び記載事項等に不備のある受験願書は受理できません。この場合、提出された受験申請書類を返却いたします（返却費用は本人負担になります。）。

8 受験票及び写真について

- (1) 受験票に記載されている試験日、集合時間、試験開始時間、試験会場等を必ずご確認ください。

なお、**指定された試験日及び開始時間の変更はできません。**

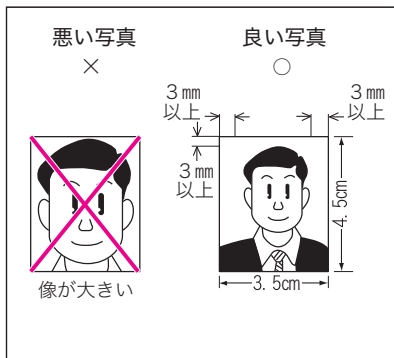
- (2) 受験票（控）は、合格発表の確認に必要です。また、甲種を再受験される方は、資格の証明に代えることができますので、大切に保管してください。

受験票の送付（印刷）	書面申請	試験日の1週間前までに発送します。 受験票が届かない場合（複数受験者は2通届きます。） 又は受験票を 紛失した場合 は、試験日の前日（9時00分～17時00分（土日祝日、年末年始を除く。））までに 富山県支部（076-491-5565）へ連絡 してください。
	電子申請	試験日の1週間前までに受験票をダウンロードできる旨のメールを送信します。受験申込みされた画面と同じ画面からダウンロードできますので、 受験者本人が受験票を印刷 してください。受験票をダウンロードする際、「電子申請受付番号」が不明な場合には、「電子申請状況確認」画面で確認してください（ 当センターからは郵送しません。 ）。 メールが届かない場合 は迷惑メール防止機能が原因で届いていない可能性があります。「電子申請状況確認」画面の「受験票ダウンロードメール」の送信状況を確認して、印刷してください。なお、それ以外のお問い合わせについては電子申請室（0570-07-1000（9時00分～17時00分（土日祝日、年末年始を除く。）））へ連絡してください。

- (3) 写真について（書面申請、電子申請共通）— **免状の写真に使用**します。

受験時の本人確認及び合格後の免状作成時に使用しますので、**下記条件を満たす写真**を反らないようにしっかりと受験票にのり付けしてください（**セロハンテープ使用不可**・のりがはみ出さないように要注意）。

また、下記の【不適切写真例】のほか、免状用として不適切な写真である場合は、免状作成時に**写真の再提出を求める場合があります**。



【写真の条件】

- ・縦4.5cm×横3.5cmの大きさで、ふちがないもの（左図参照）
- ・顔の上部・両サイドの間隔は、最低でも3mm以上あけること。
- ・受験日前6ヶ月以内に撮影された鮮明なもの（カラー・白黒のどちらも可）
- ・無帽（申請者が宗教上又は医療上の理由により顔の輪郭を識別できる範囲内において頭部を布等で覆う者である場合を除く。）、無背景、申請者本人のみが撮影され、正面上三分身像のもの ※法令改正により変更となる場合があります。
- ・**背景と髪の色が同系色でなく、影がないもの**
- ・裏面に撮影年月日、氏名、年齢が記載されているもの（写真に字が浮き上がらない程度の筆圧で記載すること）
- ・デジタル写真は、**写真専用紙に印刷**し、ドット（網状の点）やにじみ等のない鮮明なもの

【不適切写真例】

- ◎普通紙への印刷
- ◎表面にキズ、汚れ、凹凸のある写真
- ◎写真のコピー
- ◎イヤホン、サングラスやマスクを着用した写真
- ◎メガネフレームやメガネレンズの照明による反射、頭髮が目にかかっている写真等
- ◎**画像処理（加工修正）を施した写真**

9 試験当日の注意事項

- (1) **受験票を持参しないと受験できません。**
- (2) **受験票に前8の(3)に示した写真を貼付していない又は貼付写真が不鮮明な場合には、受験できません。**
- (3) 試験室内では、スマートフォン等の通信機器等の電源は退室するまで必ずお切りください。

10 試験の方法

甲種及び乙種の試験については五肢択一式、丙種の試験については四肢択一式の筆記試験です。

11 複数種類の受験

- (1) 試験日または試験時間帯が異なる場合（併願受験）
- (2) 同一試験時間帯の場合（複数受験）

既に乙種危険物取扱者免状を有する方のみ、**2種類まで**受験できます。試験時間は、1種類35分、**2種類受験については1時間10分です。**

※ 併願受験、複数受験ともに、試験の種類ごとにそれぞれの受験願書を作成し、同一封筒で申請してください。

※ **電子申請では、1種類のみ**の受験申し込みとなりますので、同一受付期間内で、併願受験又は複数受験を希望する場合は、**書面による申請を行なってください。**

12 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。）

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、前4、(2)により試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題で上記の成績であること。

13 合格発表

- (1) 合格発表は、試験日より約3週間後を予定しています。
- (2) 合格者については、公示日の正午に当センターのホームページ上に掲示するとともに、支部事務所（富山県防災センター1階玄関前）に、合格者の受験番号を公示します。また、**受験者全員に結果通知書を郵送します。**

なお、試験結果の可否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

- (3) 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとは、一切関係ありませんのでご注意ください。

14 合格後の免状交付申請の手続き

(1) 申請の方法

合格された方は、指定された日（試験結果通知書に記載）までに、次の書類等を当センターへ持参または郵送（受付最終日の消印有効）してください。

(2) 提出する書類等

① 免状交付申請書および結果通知書（切り離さないでください）

- ・記載事項に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、**赤字**で必ず訂正してください。
- ・申請日、申請者氏名（受験者名）、電話番号（日中連絡のつく番号）を必ず記入してください。

② 交付手数料（**富山県収入証紙1種類につき2,900円分**）

- ・富山県収入証紙を購入し、申請書の裏面に貼ってください。
- ・購入場所は、県内の警察署内交通安全協会他、富山県のホームページ「富山県収入証紙売りさばき所」で確認してください。
- ・当事務所では収入証紙は取り扱っておりません。窓口申請される方は事前に購入をお願いします。
- ・複数種類申請の方や、会社等でまとめて複数人の申請するときも、富山県収入証紙は各申請書にそれぞれ貼付してください。（まとめて合計額を貼らないでください。）
- ・他県の方は現金書留の封筒の中に、現金2,900円と①、③、④を入れて送付してください。

③ 免状送付用封筒（新規免状郵送用）

- ・新しい免状を郵送するための封筒です。
- ・定型封筒に送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入し、**404円分（簡易書留郵便料 令和4年4月1日現在）の切手**を貼り、裏面左下に受験番号を記入してください。
- ・簡易書留で発送しますので、不在の場合は不在票が入ります。再配達連絡を忘れずにしてください。保管期間1週間が過ぎますとセンターに返送されますのでご注意ください。
- ・複数種類申請の方は、1通の封筒に合格の受験番号をそれぞれ記入してください。
- ・窓口で受け取る場合は、必ず申請時にお申し出ください。返送用封筒は不要です。

④ 既得危険物取扱者免状

- ・新しい免状に併記しますので、既に危険物取扱者免状の交付を受けている方は、免状を提出してください。提出しないと新免状の交付はできません。
- ・既得免状をなくされた方は、既得免状の再交付申請（手数料1,900円）が必要となります。
- ・氏名、本籍に変更のある方は、別途書換申請が必要です。
再交付、変更による書換の手続きが完了しないと免状の交付ができません。
- ・タンクローリーの運転手等、免状の携帯義務がある仕事に従事している方は、ご連絡ください。

(3) 免状交付申請期間内に申請されなかった場合

試験結果通知書に記載されている免状交付日より遅れます。

試験日から6ヶ月以上経過後に申請する場合は、撮影後6ヶ月以内の写真（1枚）が必要になります。

15 その他注意事項

- ① 当センターへ一旦提出し、受理された受験申請書類及び納入された試験手数料は、一切お返しできません。
- ② 試験当日は**写真を貼った受験票**、HB又はBの鉛筆（シャープペンシルを含む）数本と、消しゴムを必ず持参してください。テンプレート等の定規類、電卓、携帯電話、スマートフォン等の端末機器は、一切使用できません。
- ③ **試験開始の30分前に集合し、着席**してください。試験開始前に受験上の留意事項等を説明します。
- ④ 試験会場は、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。また、路上駐車及び付近の事業所等への無断駐車は、絶対にしないでください。
（駐車によるトラブルについては、当支部は一切関知しません。）
- ⑤ 本人確認のため、身分証明書（運転免許証、学生証等）の提示をお願いすることがあります。
- ⑥ 事故等により会場や日程を変更する場合には、支部からの緊急情報としてホームページに掲示します。
特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。
- ⑦ 不正行為は失格とします。また、試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とすることがあります。
- ⑧ 試験会場にはごみ箱がありませんので、**ごみは各自でお持ち帰り**ください。
- ⑨ 試験問題集及び解答カードを持ち帰ることはできません。
- ⑩ 試験室内は写真撮影禁止です。また、スマートフォン等の通信機器等の電源は必ずお切りください。

危険物取扱者試験受験願書記入例

(この願書は、複写式になっています)

- ◎ 受験願書A面の〔記入上の注意〕をよく読んでからこの記入例にしたがって記入してください。なお、書き損じたときは、横二本線を引いてその上方に正しく書いてください。
- ◎ 複数の試験を受ける方は、それぞれに受験願書を作成し同時に提出してください。

A面



危険物取扱者試験受験願書

危

左づめで記入してください。外国籍の受験者は住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

左づめで記入。住民票に記載されている氏名を記入
濁点、半濁点は1マス

マスが不足する場合は、郵便(受験票)が届く程度に適宜省略してください。

試験日を記入

試験種類を記入

「富山市」「高岡市」「魚津市」の中から希望する受験地を選択し記入
(P.1 注1 参照)

甲種受験者は、P.4の表の「記入略称」により記入

試験の一部免除の資格のある方は、該当するものに○をつけてください

2種類の受験者は、それぞれの受験願書に他の種類を記入してください
(同時に複数の試験を受験する方のみ該当)。

危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。

既得免状(既に交付を受けている免状)のある方は全て記入

元号コード
昭和:3
平成:4
令和:5

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名 富山県		申請日 令和 04 年 04 月 19 日	
氏名 ショウホウ ウ		姓 タロウ		フリガナ・氏名は、氏名に分けて、左づめで記入してください	
氏名 消防		名 太郎			
生年月日 大 昭和 56 年 07 月 08 日生		本籍 富山		都道府県コード 16	
郵便番号 939-8201 必ず記入してください		自宅電話番号 又は携帯電話番号 076-491-5565			
住所 富山県富山市千石町		勤務先名又は学校名 (株)〇〇産業			
2-4-10		連絡先電話番号(携帯電話も可) 076-491-6000		内線 119	
アパガーデンコート花603号室					
試験日 令和 04 年 06 月 19 日		試験種類 甲種 丙種 第4種		受験地 富山市	
受験資格 甲種受験		免除 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6		備考	
免状免除 大規模製造保安責任者免状又は大規模取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける)		乙種危険物取扱者免状の交付を (受けていない)		5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の消防科を修了した者に (該当する)	
同時に複数の試験を受ける者は、この欄以外に受ける種類を記入すること		甲種 乙種 丙種 第4種			
免状取得の有無について記入してください ○		免状番号 1164 1234 5678			
取得している危険物取扱者免状は全て記入してください		元号コード 免状交付年月日 交付番号 準入力番号 交付知事 コード			
甲 ☐					
乙1 ☐					
乙2 ☐					
乙3 ☐					
乙4 ☐					
乙5 ☐					
乙6 ☐					
丙 5		02 08 11		00111	
				富山 16	

受験する都道府県名を記入

願書を記入した日

外国人の方は、「外国籍」と記入

受験願書B面(裏)の「都道府県コード」を記入

日中連絡がとれる番号を記入(申請書類に不備があった場合の連絡に使用)

合否が決定していないもので3ヶ月前以内に他県で申請又は受験した場合は記入してください
3種類以上ある場合は連絡してください

主となるものに○

免状の写真の下に12桁の番号が記載されている場合は記入してください

受験願書裏面の「都道府県コード」を記入してください
富山は**16**です

(A面) 試験センター発行 503

B 面

受取願書

「振替払込受付証明書 (お客さま用) **受験願書添付用**」を添付する。
(必ず所定の払込用紙を使用してください。)

甲種は	¥ 6,600
乙種は	¥ 4,600
丙種は	¥ 3,700
と記入	

必ず郵便局の
受付局日附印
を確認してく
ださい。

払込取扱票の**赤枠部分**「**振替
払込受付証明書 (お客さま用)**」
を受験願書B面(表)に貼り付
けてください。

各種証明書
この部分にのみ付け
なお、この部分に「振替払込受付証明書」

都道府県等コー

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県
福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
鳥取県	徳島県	香川県	高松市	愛媛県	高知県
福岡県	佐賀県	大分県	熊本県	鹿児島県	沖縄県

乙種危険物取扱者試験証明書

氏名	消防太郎	昭和46年 10月 4日
受験科目	第 5 類 品名	有機過酸化化合物
受験年月	平成25年 4月 1日	令和3年 4月 1日
受験時間	8 時 0 分	
受験場所	試験所	
受験料	令和4年 4月 19日	
事業所名	甲平石油株式会社	事業所の印
代表取締役	甲平 太郎	
電話	03-3406-7799	

証明者の役職印又は印

※両方必要

危険物取扱者免状 (コピー) 貼付欄

裏

危険物取扱者免状を取得している方はコピーを貼ってください (裏面に記載事項のある場合は、裏面のコピーも貼ってください。)

【当センター指定の払込用紙:原寸を縮小】

[illegible]

- (注1) **金額を訂正したものは、無効**となりますので、間違った場合は新しい払込用紙を使用してください。
- (注2) 一旦払い込まれた試験手数料はお返しできません。
- (注3) **本人控えの「振替払込請求書兼受領証」では、受験申請はできません。**
- (注4) 「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」を紛失しても当センターでは、責任を負えません。紛失した場合は、再度払込みをしてください。
- (注5) 払込み後、「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」に郵便局の日附印が押されているか確認してください。

【書面申請者用の受験票】(試験日の1週間前までに発送します。)

999-9999
〇〇県〇〇市〇〇町
1-23-45

消防 太郎

受験票

(一財) 消防試験研究センター 富山県支部
〒 939-8201 富山県富山市花園町 4-5-20
富山防災センター 2F
TEL 076-491-5565

危険物取扱者試験 受験票 (複)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号 E1-0001 試験の種別 乙種第4類
カナ氏名 ショウタウ タロウ
氏名 消防 太郎
試験日時 令和00年00月00日 [1/2]
試験会場 〇〇〇〇試験会場
〇〇県〇〇市〇〇町 1-1-1
試験室 001番室
氏名フリガナ 消防太郎
取得免許 〇〇

※ 試験内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
訂正期限は〇〇〇〇までとなります。

受験の際は、試験会場まで確認してください。
次の場合は受験することができません。
1. 受験票がない場合
2. 受験票に写真が貼っていない場合
3. 受験票に本人と確認できない写真が貼っている場合
この受験票(複)は、合格発表の後に再受験の申し込み
が必要です。大切に保管してください。

(本人控え用)

(試験当日持参用)

切り離す

写真を貼ってください
(セロハンテープ不可)

複数受験者の方は
「複数受験者の座席番号」
が記載されます。

氏名を記入してください

【電子申請者用の受験票】

(試験日の1週間前までに受験票をダウンロードできる旨のメールを送信します。)

※試験日まで作成して持参下さい。

(試験当日持参用)

切り離す

(本人控え用)

注意事項

- 次の場合は受験することができません。
(1) 受験票がない場合
(2) 受験票に写真が貼っていない場合
(3) 受験票に本人と確認できない写真が貼っている場合
- 受験票に記載している集合場所まで入室してください。
- 受験票、鉛筆(電卓用可)、消しゴムを持参してください。
- 試験会場への電報の問い合わせはしないでください。
- 予定外および緊急の用事に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 本人確認のため、受付記録簿(運転免許記録)の提示をお願いします。
- 電報による集合の問い合わせには、応じられません。
- 試験会場外の特定業者による試験結果通知の無料サービスは、本センターと一部関係ありませんので、注意してください。
- 試験記録を変更する場合は、本センターのホームページに最新情報又は変更のお知らせとして掲載します。
特に、氏名が変更する場合は試験当日の試験開始前に電報で電報する場合は緊急連絡は、試験開始時間の2時間前までに電報する必要があります。
- 試験結果は全館共通です。
- 車、バイク、自転車での乗車はご遠慮ください。
- 本試験の場

(一財) 消防試験研究センター 富山県支部
〒 939-8201 TEL 076-491-5565
富山県富山市花園町 4-5-20
富山防災センター 2F

危険物取扱者試験 受験票

写真

受験番号 E1-0001 試験の種別 乙種第4類
カナ氏名 ショウタウ タロウ
氏名 消防 太郎
試験日時 令和00年00月00日 [1/2]
試験会場 〇〇〇〇試験会場
〇〇県〇〇市〇〇町 1-1-1
試験室 001番室
氏名フリガナ 消防太郎
取得免許 〇〇

1315002231100E200046 免なし
001-06-0001 00002
試験当日、この受験票は返却します。

山折りしてのり付けしてください

背中合わせ(山折り)にして、ノリ付けしてください

切り離す

※ ご自身でA4の用紙に印刷してください。
当センターからは郵送しません。なお、印刷する際に拡大・縮小して印刷しないでください。

印字されている住所を確認してください。
試験結果通知書は、記載されている住所に郵送されます。

書式例1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

〇〇 年 月 日 入学 〇〇科〇〇コース
 〇〇 年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇
 年 月 日 生

学校教育法第124条に定める専修学校として 認可を受けた日及び文書番号 〇〇 年 月 日 号	
課程の名称	〇〇〇〇専門課程
修業年限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。
 令和 年 月 日
 (専修学校の所在地)
 〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例2 単位修得証明書

〇〇第 号

単位修得証明書

〇〇 年 月 日 入学 〇〇部 〇〇科
 〇〇 年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇
 年 月 日 生

化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。
 令和 年 月 日
 〇〇大学 学長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

別表1

化学に関する学科等の例

- 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
 (ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称					
ア	アモルファス物性工学 安全管理学 安全工学 安全防災工学 移動現象論 移動速度論 医薬品安全性学 医薬分子設計学 医用高分子機能学	ケ	原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料 高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論	サ	錯塩基及び酸化還元 産業廃水处理 色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学
イ	衛生工学 衛生薬学 栄養学 エレクトロセラミックス エレクトロニクス材料工学 応化・プロセス工学 回折結晶学 界面工学 界面制御学 界面電子工学 界面物性 科学史 核燃料工学 核燃料サイクル特論 核融合概論 核融合工学概論 化工熱工学 化工熱力学 化工物理学 化工流体工学 化石エネルギー 火薬学 ガラス工学 ガラス材料 ガラス状態論 ガラス物性 環境汚染物質分析学 環境物質工学 感光物性論 岩石学 官能基変換論 機器分析 機能高分子学 機能性高分子材料学 機能性材料工学 機能性触媒工学 機能性有機材料 機能セラミック論 凝固論及び結晶生成 金相学 金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学	コ	工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物学 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学 細胞培養学 材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計	セ	セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセス セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論 相平衡論 相変態論 素材工学 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 超高温材料 調剤学 鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学 電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック学 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農薬学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称						
ハ	薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論	フ	物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学	フ <		

試験会場案内図

(高岡・魚津会場)

高岡商工ビル

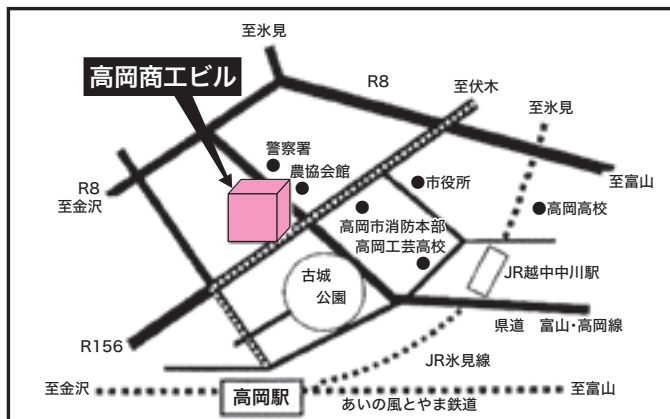
＊加越能バス、万葉線「広小路」下車

＊台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

＊近隣商業施設などへの「無断駐車」は絶対にしないでください。

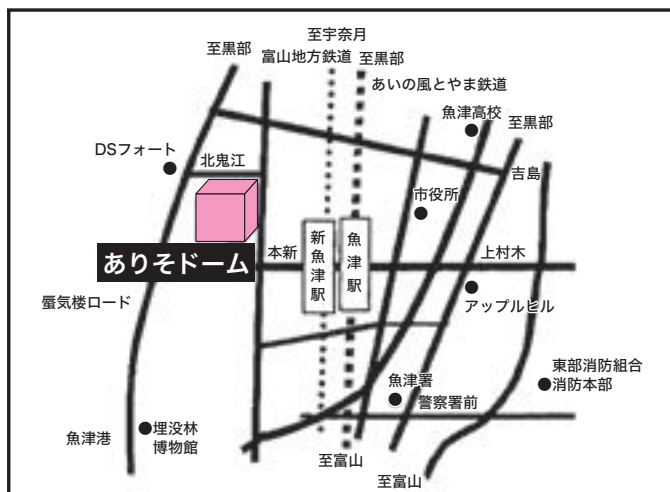
違法駐車、迷惑駐車は警察に通報される場合もあります。

レッカー移動されても当センターは一切責任を負いません。

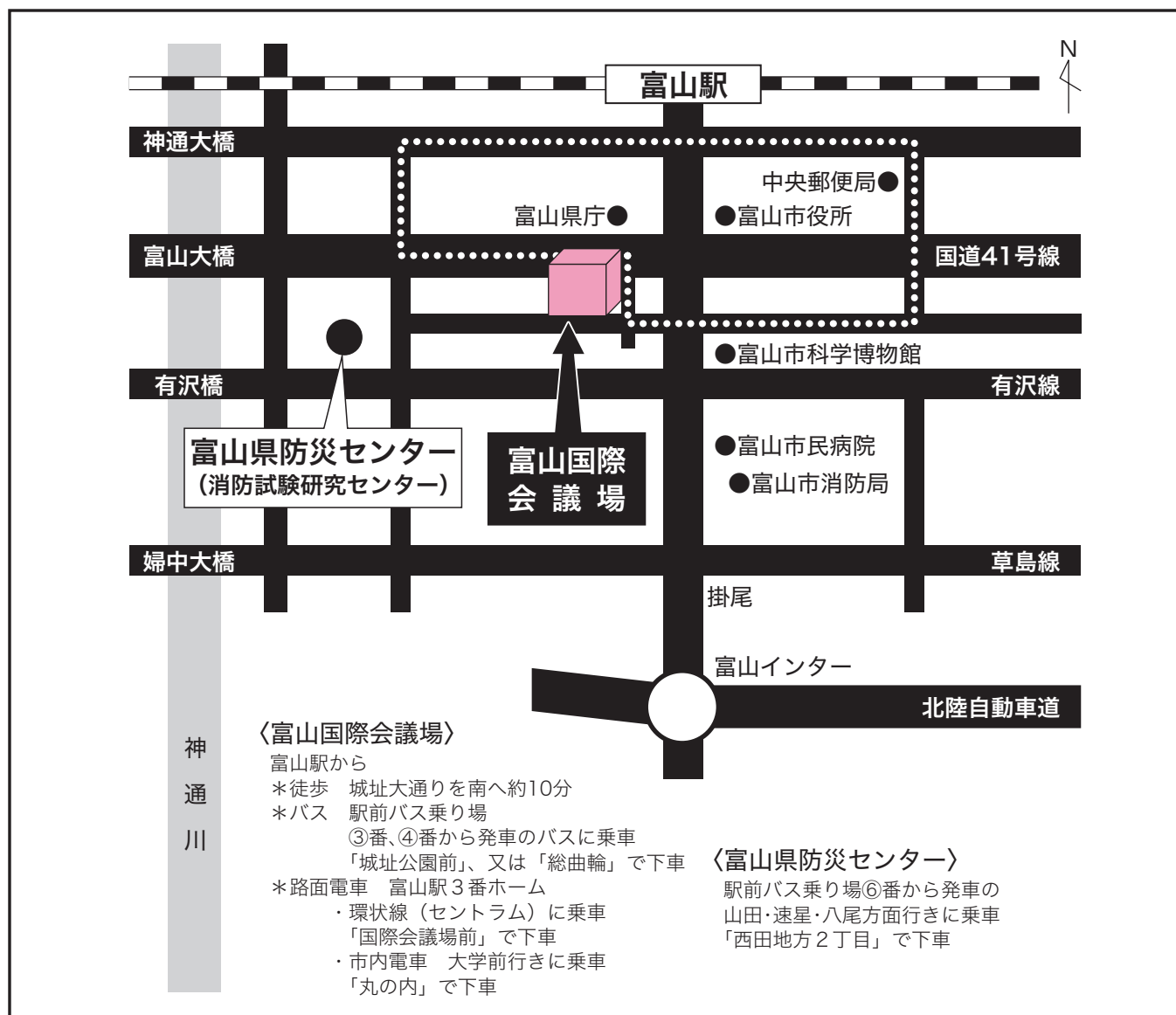


ありそドーム

＊魚津駅、
富山地方鉄道新魚津駅から
徒歩10分



試験会場（富山会場）案内図 センター所在地



※ 一般財団法人 消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版、一切行っておりません。

お問い合わせ先



一般財団法人
消防試験研究センター
富山県支部

〒939-8201 富山市花園町4-5-20
(富山県防災センター2F)

TEL 076-491-5565
FAX 076-491-6000

個人情報取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

- 1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。
- ① 個人情報の内容
氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。
- ② 利用目的
利用は、本人確認、本人への通知及び連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。
- 2 当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報保護のための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。
- なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するものと及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。